

地域水産物の販売・加工活動による地域活性化

(水産庁、沿岸漁業者経営改善促進グループ等取組支援事業)

北薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

北さつま漁協出水支所は、組合員数167名で、八代海南部海域を漁場に、タイ類、イカ類等を対象にした吾智網漁業、アジ等を対象にした一本釣漁業、クルマエビ等の刺網漁業、イワシ稚仔魚を対象としたバッチ網漁業等が営まれているほか、冬季は、鹿児島県で唯一、ノリ養殖業や打瀬網漁業が営まれている。

しかしながら、当地域においても近年の経営環境は、資源の減少傾向、高齢化、魚価低迷、燃油高騰など、厳しい状況にある。

このため、漁村女性起業化グループを育成しながら、支援事業を活用し、沿岸で漁獲される水産物の販売や加工販売に取り組むことにより、地域水産物の付加価値向上を図り、地域漁業の経営安定と活性化を図る。

【普及の内容・特徴】

- 1 平成20年度に設立した漁村女性起業化グループ（名称：JF北さつま出水女性グループいといより）を漁村女性起業化グループ取組支援事業（水産庁）を活用しながら育成を図った。
- 2 支援事業では定期的な販促活動の地域における定着化を図るとともに、加工機器類や加工設備類を購入設置した。また、漁協単独事業で簡易加工場と直販所を整備した。

【成果・活用】

- 1 月1回のおさかな市（名護・新鮮おさかな市）が地域に定着化することにより、漁業者等が直接販売する機会や漁村女性の働く機会も定着した。また、それに伴って漁獲物の価格向上が図られた。
- 2 おさかな市では、漁村女性起業化グループの直営1店舗の他、水産関係店舗、農産物関係店舗等の販売ブースを提供した。これにより、農家や生活改善グループ等との交流が深まるとともに、地区内外から多くの人々が訪れ、漁村地区の活性化が図られた。
- 3 加工機器類や加工設備類を整備した簡易加工場を中心に、これまで地区であまり取り組まれていなかった漁村女性グループによる漁家加工体制が整った。

【その他】

次年度の計画としては、地域に定着化した定期的な販促活動を継続することで「出水」・「名護漁港」・「新鮮なさかな」についてのイメージアップを更に図る。また、簡易加工場（加工機器・設備類）と直販所を十分に活用し、加工・販売活動を実施することにより、漁獲物の付加価値向上を目指す。

1 グループの設立

設立年月日	平成20年9月5日
会員数	11名(10個人, 1法人(漁協))
グループ名	JF北さつま出水女性グループいといより

2 おさかな市実績(平成22年度)

開催回数	10回
店舗数	延べ83店舗
来場者数	延べ2,100人
グループ売上高	1,229千円

3 簡易加工場・直販所の仕様

区分	面積(m ²)	主な設備
簡易加工場	21.66	攪拌擂潰機 遠赤電機フライヤー 加工台, ガス台 一槽台付シンク ステンレスフード 鮮度保持用空調設備
直販所	14.44	冷凍ショーケース



おさかな市販売風景



簡易加工場・直販所



簡易加工場
(一槽台付シンク, 作業台等)



簡易加工場
(攪拌擂潰機)